

ままちの資産を みてもよい

市は、快適で住みやすいよりよい『のぼりべつ』を実現するため、資源の有効活用を図る『クリンクルセンター』の建設をはじめ、道路や上下水道、公園、教育環境などの整備を進めています。

これまでも、『広報のぼりべつ』では、市の現状を市民のみなさんにご理解いただくため、市の財政状況についてお知らせしてきましたが、これだけでは、市が社会資本（道路などの公共施設）として整備してきたまちの資産がどれくらいあるのか、また、それにかかった借金などの負債がどのくらいあるのかといったことなど、なかなか読み取れませんでした。

今号では、平成13年度上半期（4月～9月）の予算執行状況についてお知らせするとともに、平成12年度末のデータを基にした『バランスシート』を通して、市の資産や負債についてご説明します。

バランスシート ってなに？

現在、市町村の会計は、家計簿などにみられる『単式簿記』、つまり、一年間のお金の出入りを記録していく方法をとっています。単式簿記では、その年度の収入がいくらで、使ったお金はいくらか、その結果、いくらの繰越

金が出たのかということを確認することができます。

しかし、これだけでは、まちの社会資本や負債がどのくらいあるのかまでは、なかなか分かりません。そのため、市は、市民のみなさんに市の現状を正しく理解していただくため、主に企業などの経理で用いられている『複式簿記』の手法で『バランスシート（貸借対照表）』を作成しました。

バランスシートとは、企業の財政状態を明らかにするために、すべての資産とすべての負債・資本とを対照表示した書類のことで、企業においては株主や融資している銀行、契約の相手方などに、会社の経営内容を知ってもらうために作成されています。

地方自治体の バランスシート

地方自治体（市町村や都道府県など）

のバランスシートと一口に言っても、バランスシートは本来、利益を追求する企業の経営状態を表すもので、地方自治体は住民福祉の向上を目的としているため、企業の会計手法をそのまま用いるわけにはいきません。

しかし、地方自治体の財政状態を適切に表現できるように工夫して導入すること、まちの財政情報の充実に役立つと考えられます。

登別市のバランスシートは、平成12年3月に総務省が公表した報告書を基に作成していますが、これは、今後バランスシートを作成する大多数の市町村が、この作成基準に基づくものとして予想されるため、他市町村との比較が容易に行えるという利点があるからです。

①バランスシートの左側は借方

借方は、市がこれまで整備してきた道路や建物などのほか、現金や預金などの『資産』の状況を表しています。

問
い
せ
合
わ
い

課
係
財
政
財
政

☎ 05 1 3 3 1

Eメール: fin@city.noboribetsu.hokkaido.jp